

～よく読まれている図書を紹介します～

1. やさしい貧血の自己管理 2001 年 6 月 医薬ジャーナル社

血液の成り立ちとできかた、貧血の種類や症状が写真で掲載されています。慢性の病気に見られる貧血についても解説されていますので、複数の病気をお持ちの方は、持病の食事療法の本と照らし合わせて読まれています

2. 肝臓病の基本の食事 最新版 2014 年 6 月 学研

食生活を見直してみようと思ったものの、低カロリーで、タンパク質を摂れて、塩分も控えめだと考えると難しい・・・でも、長く続けるポイントが書かれているので便利。夫と 2 人の生活で「食事づくりが辛い」と思っておられた方が、一緒に読み進めるうち、料理の幅が広がりそうだ・・・とおっしゃっていたのが印象的でした

3 今日の治療薬 2015 2015 年 1 月 南江堂

ピルブックと共によく手にされる方が多いです

4. やさしい大腸がん外来化学療法の自己管理 2010 年 12 月 医薬ジャーナル社

はじめに・・・の序文に、「ここ数年における化学療法の進歩で抗がん剤治療の治療成績は飛躍的に向上している。主役は患者さまであり、どのような生活を作るかが最も大切な課題」と書かれています。「抗がん剤治療の意義」を理解し、「いかにうまく抗がん剤の副作用に対応するか」を知る。皆さま熱心に読まれています。

5 パーキンソン病最新治療と生活法 2015 年 南江堂

実は知っていると思っている事が、間違いだったと気づきます。家族や親戚の方がこの病気になったので・・・と読まれています。薬を使うときは、ロー・アンド・スローが理想的？

～絵本で人気の本～

1. はらぺこあおむし
2. パムとケロのそらのたび
3. おやこで遊べるたのしいおりがみ (楽しそうに親子で折っておられますよ！)

～作品展のお知らせ～

この作品展は、がん患者さんへの支援の一環として『がんと生きる・私の物語』を掲載し、それぞれの方の取り組む姿が、励みになりますようにと、開催しております。今回で、第 4 回目になります。やさしいがんの知識として各種パンフレットを用意しておりますので、ぜひ参考にして下さい。又、がんの冊子等は患者図書室内に配架しておりますのでご利用下さい。

場所 : 患者図書室前スペース、4 階フロアスペースの 2 箇所、同時

日時 : H28 年 2 月 5 日 (金) ～2 月 29 日 (月)

内容 : 第 5 回リリー・オンコロジー・オン・キャンパスの受賞作品 5 点を展示

絵画部門 グランプリ 1 点 特別賞 1 点

写真部門 グランプリ 1 点 特別賞 2 点